



ほっしん

# 突発性発疹

## 👉 病気の説明 (どんな病気?)

原因はヒトヘルペスウイルス6型及び7型です。乳児に好発し、0歳と1歳で大半を占めています。季節性はなく、通年でみられます。38℃以上の高熱が3日間ほど続いた後、解熱とともに全身に2~10mmほどの赤い小さな発疹が多数現れます。発疹は1~2日ほどで消失します。一般に予後は良好ですが、発熱時に熱性けいれんを伴うことが比較的多くあります。まれに脳炎、劇症肝炎などの合併症が生じます。

## 👉 予防 (感染はどう防ぐ?)

唾液を介した経口感染、飛沫感染(咳、くしゃみ、唾液など)、接触感染(感染者の飛沫などに触れた手で、口・鼻・目などの粘膜を触ることによる)です。初感染以降は潜伏感染状態となり、断続的に唾液からウイルスが排泄されることから、家族など接触の多い人からの飛沫感染が推測されています。

潜伏期間は9~10日です。

予防には手洗いや咳エチケットなど、基本的な感染対策となります。



## 👉 治療 (感染したときは?)

基本的に対症療法です。熱性けいれんを引き起こした場合は、けいれんを止めるための薬や解熱剤を使用します。水分を少量頻回に与えるなど、脱水にならないように注意します。

## 👉 登園・登校の基準

解熱し、機嫌が良く、全身状態の良い場合は登園可能とされています。

👉 詳しく知りたい方は [突発性発疹について | メディカルノート \(medicalnote.jp\)](https://medicalnote.jp)

👉 横浜市の流行状況 [横浜市感染症情報センター 横浜市 \(yokohama.lg.jp\)](https://yokohama.lg.jp)

